

問1 過去の災害を伝える資料において、有明海の沿岸部に「自然災害伝承碑」が集中して分布している場合、その背景として推察される状況について述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛知公立入試 類似)

1. 地震や山体崩壊などによって発生した津波が、沿岸部を襲い甚大な被害をもたらした。
2. 火山の噴火によって放出された火山灰が積もり、沿岸部の農作物に深刻な被害を与えた。
3. 大規模な台風の通過により、河川の堤防が決壊して流域の広範囲が浸水した。
4. 冬の厳しい冷え込みにより、沿岸部の海面が凍結して漁業に大きな影響が出た。

問2 三陸海岸の南部や志摩半島、若狭湾周辺に見られる、山地が沈水して複雑に入り組んだ入江が形成された海岸地形を何と呼びますか。また、その地形的特徴を活かした産業として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 香川公立入試 類似)

1. リアス海岸と呼ばれ、波が穏やかで水深が深い特徴を活かして、真珠やカキなどの養殖業が行われている。
2. 海岸段丘と呼ばれ、平坦な土地が階段状に広がる特徴を活かして、大規模な稲作が行われている。
3. 砂州と呼ばれ、細長く伸びた砂の堆積によって波が遮られる特徴を活かして、塩田による製塩業が行われている。
4. 三角州と呼ばれ、河口付近に土砂が堆積した低温な特徴を活かして、果樹園の経営が行われている。

問3 中央高地に位置する松本市の降水量データを分析すると、日本海側や太平洋側の都市と比較して、月ごとの降水量が全体的に低く抑えられています。このような状況が生じる地形的な理由として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 埼玉公立入試 類似)

1. 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気が遮られるため。
2. 標高が非常に低く、雲が発達する前に風が通り過ぎてしまうため。
3. 広大な平野部が広がっており、上昇気流が発生しにくい地形であるため。
4. 暖流の影響を直接受けることで、空気中の水蒸気が蒸発しやすいため。

問4 ある都市の気候データを分析すると、年平均気温は約14℃と比較的温暖で、年降水量は2500mmを超える多雨な傾向が見られました。特に夏から秋にかけて降水量が多く、冬は降水量が少なく晴天が続く特徴がある場合、この都市が属する気候区分として最も適切なものはどれですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 太平洋側の気候
2. 日本海側の気候
3. 中央高地の気候
4. 瀬戸内の気候

問5 東北地方の三陸海岸南部や三重県の志摩半島に見られる、起伏の多い山地が沈水して形成された、のこぎりの歯のように複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

1. リアス海岸
2. 砂浜海岸
3. 干拓地
4. 三角州

問6 都市部において、大雨が降った際にマンホールの蓋が噴き出す現象が起こる背景と、その対策としての「雨庭」の役割について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 鳥取公立入試 類似)

1. 急激な雨水の流入により下水管内の空気が圧縮されることが原因であり、雨庭は雨水の流入量を調節する役割を担う。
2. 下水管が老朽化し水圧に耐えられなくなることが原因であり、雨庭は下水管の周囲を補強する役割を担う。
3. 雨水による水質の悪化が下水管の腐食を招くことが原因であり、雨庭は雨水を浄化する役割を担う。
4. マンホールの蓋が軽量化されたことが原因であり、雨庭は植物の重みで地盤を固める役割を担う。

問7 火山活動に関連する地形である「カルデラ」の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれか、次から選びなさい。 (2020年 佐賀公立入試 類似)

1. 噴火によって地下のマグマが大量に放出されたあと、地表が自重で陥没して大規模なくぼ地となったもの。
2. 火山灰が長期間にわたって広範囲に降り積もり、水はけのよい平坦な台地が形成されたもの。
3. 火口付近から流れ出した溶岩が冷えて固まり、おわんを伏せたような形の山が形成されたもの。
4. 火山の周囲にある川の周辺で、土砂が堆積してできた平坦な土地が、地殻変動で数段の階段状になったもの。

問8 日本の諸河川の特徴を比較した統計資料において、利根川は日本で第1位の「流域面積」を持つと説明されます。この流域面積という用語の説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。 (2018年 京都公立入試 類似)

1. 降った雨や雪が、その河川の支流や本流に流れ込む範囲の面積
2. 河川の源流から河口までを結んだ、本流の直線距離
3. 河川の堤防の内側にある、水が流れている部分の面積
4. 河口において、1秒間に海へと放出される水の量

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 地震や山体崩壊などによって発生した津波が、沿岸部を襲い甚大な被害をもたらした。	自然災害伝承碑の分布場所は、その災害の影響を直接受けた場所と密接に関係しています。沿岸部に石碑が集中している場合、それは津波や高潮などの海から押し寄せた災害の記録であることが多いです。1792年に雲仙岳で発生した「島原大変肥後迷惑」では、山体崩壊によって海に流れ込んだ土砂が巨大な津波を引き起こし、対岸を含めた沿岸部に甚大な被害をもたらしたため、その教訓を伝える碑が沿岸各地に残されています。
問2	<b>答え 1</b> リアス海岸と呼ばれ、波が穏やかで水深が深い特徴を活かして、真珠やカキなどの養殖業が行われている。	起伏の多い山地が地殻変動によって沈んだり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込んで形成される地形をリアス海岸といいます。この地形は湾が奥深く、入り口が狭いため外海の影響を受けにくく、波が非常に穏やかであるという特性があります。さらに、もともと山であった場所が海に沈んでいるため水深が深く、大型の船が停泊しやすい天然の良港となったり、浮きを浮かべて行う魚介類の養殖業に適した環境を提供したりしています。
問3	<b>答え 1</b> 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気が遮られるため。	中央高地の気候において降水量が少なくなる最大の要因は、周囲を険しい山々に囲まれた「盆地」などの地形にあります。海から吹き込む湿った季節風は、高い山を越える際に雨や雪を降らせるため、山を越えて内陸部に到達する頃には乾燥した空気に変わります。この仕組みにより、松本市などの内陸部では年間を通じて雨や雪が少なくなります。
問4	<b>答え 1</b> 太平洋側の気候	夏に太平洋から吹く湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬は山脈を越えた乾いた風の影響で晴天が多くなるのが太平洋側の気候の特徴です。設問にある年降水量2500mmを超える多雨という特徴は、静岡県などの太平洋側の地域によく当てはまります。日本海側は冬の降水量が多く、中央高地や瀬戸内は年間を通して降水量が少ない傾向があります。
問5	<b>答え 1</b> リアス海岸	山地が沈水（地盤の沈降や海面の上昇）することによって、もともとの谷の部分に海水が入り込んで深い入り江となり、尾根の部分が岬として突き出すことで形成されます。このプロセスにより、海岸線が非常に複雑になるのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 急激な雨水の流入により下水管内の空気が圧縮されることが原因であり、雨庭は雨水の流入量を調節する役割を担う。	マンホールの噴出は、通常時は空気で満たされている下水管に、大量の雨水が急速に流れ込むことで中の空気が行き場を失い、強く圧縮されることで発生します。雨庭は、雨水を地表で一時的に受け止めて地下へ浸透させる「貯留・浸透」の機能を持つため、下水管へ直接流れ込む雨水の量や速度を抑える（調節する）効果があり、防災上の重要なインフラとして注目されています。
問7	<b>答え 1</b> 噴火によって地下のマグマが大量に放出されたあと、地表が自重で陥没して大規模なくぼ地となったもの。	大規模な噴火が起こると地下のマグマだまりが空になり、支えを失った上部の地盤が崩れ落ちることで巨大なくぼ地が生まれます。火山灰の堆積による台地はシラス台地、階段状の地形は河岸段丘を指します。
問8	<b>答え 1</b> 降った雨や雪が、その河川の支流や本流に流れ込む範囲の面積	流域面積とは、その河川の支流なども含めて、降った雨や雪が最終的にその川へと集まってくる範囲全体の面積を指します。利根川はこの面積が約16,840平方キロメートルと日本で最も広く、関東地方の約半分に相当する広範囲から水を集めています。なお、川の長さ（流路延長）において日本最大の河川は信濃川です。